

平成 30 年 6 月 8 日現在

機関番号：32404

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26370499

研究課題名(和文)メタ言語能力の発達過程の解明とそれに対応した言語教育システムの開発

研究課題名(英文)Development of Metalinguistic Abilities and Language Education System

研究代表者

大津 由紀雄 (OTSU, Yukio)

明海大学・外国語学部・教授

研究者番号：80100410

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、メタ言語能力の発達過程を文献調査と実験により解明し、メタ言語能力の発達過程に対応した言語教育システムを開発することを目的としたものである。

メタ言語能力の発達に関する調査結果を整理した。メタ言語能力の発達の形態が明確になり、その基盤にある認知能力の発達との関連についてもある程度の見通しを立てることができた。小中高の教員の協力を得て、メタ言語能力の発達過程に対応した言語教育システムの開発した。教員を対象としたワークショップ及び一般を対象とした講演会を開催した。研究成果を論文及び一般向け論考として発表した。本研究の成果を盛り込んだ書籍を2018年度中に出版予定である。

研究成果の概要(英文)： This project was aimed at exploring the development of metalinguistic abilities through a literature review and experiments, and developing a language education system based on the findings.

The outcomes include: (1) specification of the stages of metalinguistic abilities; (2) building the foundations for a language education system based on the findings related to (1); (3) conducting workshops for language teachers and lectures for general audiences; (4) publishing research papers and essays on the topic; and (5) a book to be published within the 2018 academic year.

研究分野：認知科学

キーワード：メタ言語能力 言語教育 母語

1. 研究開始当初の背景

研究代表者による、それまでの研究でメタ言語能力が言語教育において重要な意味を持つことが明らかとなっているが、メタ言語能力の発達過程を考慮した言語教育プログラムは部分的にしか開発されておらず、より包括的なプログラムの開発が必要であった。

2. 研究の目的

本研究は、メタ言語能力(言語の構造、機能、使用等について気づき、考え、報告する能力)の発達過程を文献調査と実験により解明し、その結果をもとに、メタ言語能力の発達過程に対応した言語教育プログラムを開発することを目的とする。

3. 研究の方法

メタ言語能力の発達過程に関する文献調査と実験

その結果をもとに、メタ言語能力の発達過程に対応した言語教育プログラムの開発

教員を対象としたワークショップおよび一般を対象とした講演会の実施

本研究の成果を盛り込んだ書籍の刊行

4. 研究成果

メタ言語能力の発達に関する、これまでの調査結果を整理した。この結果、メタ言語能力の発達の形態が明確になり、その基盤にある認知能力の発達との関連についてもある程度の見通しを立てることができた。音韻面に関するメタ言語能力の発達がもっとも早く、次いで、形態面、意味面に関するメタ言語能力の発達が続く。統語面に関するメタ言語能力の発達は他の面よりも概して遅いが、個人差が大きい。

小中高の教員の協力を得て、メタ言語能力の発達過程に対応した言語教育システムを開発した。その結果を受けて、音韻、形態、意味、統語の順で、メタ言語能力の発達を促すプログラムである。

本研究での対象は主として母語に関するメタ言語能力の発達であるが、それが外国語学習の基盤を形成する点も重要である。ことに、小学校に外国語活動と教科としての外国語が導入されることになったいま、その意味するところは非常に重く、両者を関連づけた言語教育プログラムのより一層の充実が今後の課題の1つである。

教員を対象としたワークショップ及び一般を対象とした講演会を開催した。いずれも多く参加者があり、充実した催しとなった。

研究成果を論文及び一般向け論考として発表した。

本研究の成果を盛り込んだ書籍の出版準備を行った。2018年度中の出版を目指している。

本研究の成果を引き継ぐ研究プロジェクトの構想を立てた。今後はメタ言語能力の発達を念頭に、学校英文法と学校国文法の連携を目指す研究を進めていく。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計10件)

- (1) 大津由紀雄 (2017) 「外国語としての英語という視点の共有」『学術の動向』74-77. [査読無]
- (2) 大津由紀雄 (2017) 「次期学習指導要領から見た英語教育の今後の課題」『学術の動向』102-107. [査読無]
- (3) 大津由紀雄 (2017) 「小学校英語教育の未来---現状と今後のあるべき姿を考える」『初等教育カリキュラム研究』5, 81-116. [査読無]
- (4) 今西典子・大津由紀雄 (2017) 「時間表現の発達---時間の言語化に見られる普遍性と多様性の観点からの考察」*Brain and Nerve*. 1251-1271. [査読無]
- (5) 大津由紀雄 (2016) 「破綻に向かう英語教育を救うためにすべきこと」*Southern Review*, 31, 3-25. [査読有]
- (6) 大津由紀雄 (2016) 「ことばについて知ることの大切さ」『日本語学』35、2、2-12. [査読無]
- (7) 大津由紀雄 (2015) 「小学校への教科としての英語教育の導入と対応策」『教育と医学』63、12、12-19. [査読無]
- (8) 大津由紀雄 (2015) 「教育のグローバル化・国際化」と英語教育」『指導と評価』61、10、12-14. [査読無]
- (9) 大津由紀雄・直山木綿子 (2015) 「小学校教育としての外国語教育に求めるもの」『初等教育資料』929、36-41. [査読無]
- (10) 大津由紀雄 (2014) 「なぜ英語教育は混迷するのか---混迷からの脱却をめざして」『現代思想』4、110-119. [査読無]

[学会発表](計22件)

- (1) 大津由紀雄「英語教育と国語教育の連携」長崎大学言語教育センター公開講演会(2018)
- (2) 大津由紀雄「どうすればよいのか、これからの英語教育」新英研全国大会プレ集会(2017)
- (3) 大津由紀雄「新しい言語教育の姿を探る」東京言語研究所教師のためのことばワークショップ(2017)

- (4) 大津由紀雄「日本語から英語へ」東京言語研究所教師のためのことばワークショップ(2017)
- (5) 大津由紀雄「学習指導要領改訂と言語教育」明海大学複言語・複文化教育センター公開シンポジウム(2017)
- (6) Otsu, Yukio. "Comments on Stephen Crain's and Yuji Nishiyama's Talks. 2nd International Symposium on the Science of Mental Time. (2017)
- (7) 大津由紀雄「効果的な英語学習法とは」埼玉県立川越女子高等学校特別講義(2017)
- (8) 大津由紀雄「機械・ことば・人間」第20回明海大学応用言語学セミナー(2017)
- (9) 大津由紀雄「ことばの教育が人文系大学教育再生の鍵を握る」目白大学特別講演会(2017)
- (10) 大津由紀雄「初等中等教育における英語教育の発展のために」日本学術会議言語・文学委員会文化の邂逅と言語分科会公開シンポジウム(2017)
- (11) 大津由紀雄「ことばの力を育む---理論に裏打ちされた実践」名古屋学院大学大学院外国語学研究科英語セミナー(2016)
- (12) 大津由紀雄「ことばの力を育む---理論に裏打ちされた実践」名古屋学院大学大学院外国語学研究科英語セミナー(2016)
- (13) 大津由紀雄「破綻に向かう英語教育を救うためにすべきこと」沖縄外国文学会第31回年次大会講演(2016)
- (14) 大津由紀雄「小学校での言語教育を考える---英語教育導入の流れの中で」広島大学大学院教育学研究科初等カリキュラム開発講座学会講演(2016)
- (15) 大津由紀雄「ことばと教育---理論と実践の両面から考える」松山大学大学院言語コミュニケーション研究会講演(2015)
- (16) 大津由紀雄「次期・次々期学習指導要領に望むこと・望まないこと」第45回中部地区英語教育学会和歌山大会講演(2015)
- (17) 大津由紀雄「大学英語教育の諸問題の本質的解決には教育全体を見渡さなくてはいけない」第20回FDフォーラム講演(2015)
- (18) 大津由紀雄「本道への回帰---グローバル化対処の前にやっておくべきこと」長崎大学英語教育講演会講演(2015)
- (19) 大津由紀雄「『ことば』という視点」英語教育の在り方に関する有識者会議講演(2014)
- (20) 大津由紀雄「小学校英語の教科化と『英語の授業は英語で』は同根の過ち」名古屋学院大学創立50周年記念大学院講演会(2014)
- (21) 大津由紀雄「母語と切り離された外国語教育は失敗する」獨協大学創立50周年記念外国語教育研究所第4回公開研究会講演(2014)

- (22) 大津由紀雄「有識者会議に委員として参加して見えてきたこと---『ことば』の不在と教育の両極化」神戸女学院大学英語英文学会(2014)

〔図書〕(計4件)

- (1) 鳥飼玖美子・大津由紀雄・江利川春雄・斎藤兆史(2017)『英語だけの外国語教育は失敗する---複言語主義のすすめ』ひつじ書房、167pp.
- (2) 大津由紀雄・嶋田珠巳編著(2016)『英語の学び方』ひつじ書房、168pp.
- (3) 斎藤兆史・鳥飼玖美子・大津由紀雄・江利川春雄(2016)『「グローバル人材育成」の英語教育を問う』ひつじ書房、152pp.
- (4) 江利川春雄・斎藤兆史・鳥飼玖美子・大津由紀雄(2014)『学校英語教育はなんのため?』ひつじ書房、176pp.

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
 発明者：
 権利者：
 種類：
 番号：
 出願年月日：
 国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
 発明者：
 権利者：
 種類：
 番号：
 取得年月日：
 国内外の別：

〔その他〕
 ホームページ等

6. 研究組織
 (1) 研究代表者
 大津 由紀雄 (OTSU, Yukio)
 明海大学・外国語学部・教授
 研究者番号：80100410

(2) 研究分担者 ()

研究者番号：

(3) 連携研究者 ()

研究者番号：

(4)研究協力者 ()